

特集  
6

学年代表思い出

僕の百折不撓 還暦編

昭和53年卒

河嶋 廣

高校時代から僕は日本中をサイクリングで走りたい、という果たせぬ夢があった。

二〇一六年偶々北海道で仕事をしており、広大な北の大地でサイクリングしたい僕は自転車を購入し、まずはサロマ湖畔を走ったが本当に楽しく爽快だった。いよいよ岐阜に帰る時、長期休暇を取りサイクリングで帰ることを思い立った。不安もあつたが絶対やると決心し、その気持ちが変わらぬように岐高の仲間同窓会で発表した。もうこれで後には引けなくなった。二〇一七年の夏八月万感の思いで佐呂間町からスタート、旭川、富良野と走り苦小牧からフェリーに乗り八戸へ。ここからはほぼ東北線に沿って走り盛岡、仙台から南下、都内を避けて川越、八王子から厚木に抜け東海道を走り一六日かけて岐阜に着いた。達成感に満ちた僕はその後二〇一八年夏今度は九州から岐阜へ走ろうとし、鹿児島指宿市からスタートし、異様に熱いためか何度か足が攣ったがへこたれず広島市まで七日間で走った。その一年後の二〇一九年夏

は広島市から岐阜にこれで完走するぞとの思いで僕はペダルを踏み走り始めたものの思いがけぬアクシデントに襲われた。夜八時あと少しで今夜の宿に着くはずだった岡山県から兵庫県の県境で僕の記憶が消えた。気がついた僕は赤穂市民病院救急室にいた。田舎の国道の真ん中で転倒し左側頭部を強打して伸びていたところを発見され救急車で搬送されたようだ。外傷性脳挫傷、翌日には左手が痺れていた。僕は入院嫌いで強引に退院し、自転車は預かってもらっていた赤穂警察署から家に送り返しJRで帰宅した。その後暫くは眩暈に苦しんだが後遺症もなく回復した。昨年二〇二〇年夏事故現場まで自転車をもう一度運び再スタート。日本の南北を結ぶ旅は今現在奈良市岐阜間を残すのみである。



Keep on smiling

昭和53年卒

佐久間直子

幼い頃から、皆と違う世界、違う視界に関心がいつてしまう癖が治らぬまま、年を重ねた私には、漠然とした人生のテーマがありました。一人は、その人物の在るがままの自分で生きることを正しい。

そんな信念のようなものが、物心ついた頃から確信としてあつた私は、社会人になつてからも、企業に馴染めず、二十代のほとんどをフウテンの寅さんよろしく、その日暮らしの気儘な東京生活を送つておりました。

人生とは、意図せずとも、それなりに必要な環境が向こうからやってくる！なんてことがあるようで、私は東京都の歴史ある専門業界紙の編集長になつていました。

政治と行政、関連企業のトップの取材、その為の、知識や情報の収集。取材先の選定から、スケジュールの指示、集めたネタを元に割り付け、記事を書き、印刷所に詰め、ゲラ刷りのチェックや校正、そしてお金になる企画を練り、専門だった広告制作に至る、新聞づくりの全てに携わりました。

正に、天職だと思つていましたが、そこで知ったことは、人が在るがまま生きることができない理由

だつたのです。

普通に生活していれば、知ることのない日本の深部を垣間見る仕事。誰にも頭を下げることはない仕事。そんな新聞社という看板を背負わない、私自身が、在るがまま、を表現する新たなステージを求め、五〇歳を前に、職を辞しました。

そして自営業の傍ら、憧れだったJRの売店でバイトを始めました。様々な国の外国人留学生、家庭を持つ主婦など、それまで関わることもなかつた人々との出会い。これもまた、正に天職と思つていきます。

昼夜なく、人の心に無頓着に突つ走つた新聞社時代。何気ない一日の瞬間の関わりに笑顔で心躍らせる今のギャップに、「なかなか面白い人生だ！」とほくそ笑む私があります。祖父は、恋愛に定年は無い！と申しましたが、私は人生に定年無し、一生涯もれなく楽しんで生きたい。

そして岐阜高校時代も、今日に至るすべてに、ありがとうを伝えたい。



## 想い出多き海外転勤人生

昭和53年卒  
渡邊 博

同窓会幹事の方からGKNO DAYSへの寄稿をしてみませんかと国際電話を頂いたときはちょっと驚いた。

外務省に入つて海外転勤族になつたこともあり小学校、中学校、高校、大学とも同窓会にはほとんど縁がない。日本に帰国したときには岐阜に帰つて加納西小学校、加納中学校、岐阜を歩いて回るのを密かな楽しみにしているが、みんなどうしてるんだろうとぼんやり思うのが精一杯。無精な性格だ。そんな私を見つけ出して、よく声をかけてくれたものだと感心した。

外務省に入ったのは大学を卒業した昭和五七年。専門語はイタリア語になつたので、昭和五八年から二年間イタリアのフィレンツェで語学研修。私はいわゆるイタキチではなく好きでイタリア語を選んだわけではないが、イタリアの何が人を魅了させているかを探った。輝かしい歴史もあり実に奥深い。二年の語学研修に加えて、ローマ勤務二回、ミラノ勤務二回、日本と行ったり来たりしている間にイタリア勤務が合計一七年になつていた。同僚からは外務省

で一番ラッキーだからかわれるが、イタリア語が専門語だところになつてしまふ。

しかし、イタリアだけにいたわけではなく、ブラジルのサンパウロに二年九か月、マーシャル諸島共和国には四年二か月勤務し、今はフィリピンのセブにいる。セブは二年になり、この原稿を書きながら、次の勤務地のニュージージーランドのオークランドへの引越しの準備をしている。

サンパウロもマーシャルもセブもそれぞれ実にいるいろいろな新しい経験をしてきた。忙しかったがそれぞれの国で多くの知己を得て良い仕事が出来た。想い出多き人生となつていく。

こんな私についてきてくれた妻と息子には深く感謝。環境が目まぐるしく変わる中で大変だったよつだ。苦労を通じて家族は仲が良くなつた。



## 百十一歳

昭和53年卒  
野寺 夕子

林おかぎさんは、土岐市のお人。私の手元にあるのは九六歳のおかぎさんのポートレートだ。セピア色の写真。私が撮つた。四六歳のときに。

このとき、おかぎさんは神戸の林さん：息子さんの家に滞在していて。「ドキュメント遺影」という新聞連載を始めていた私あてに手紙が届く。撮つてもいいですよつて。そう、新聞の紙上で呼びかけてたんだ、あなたの遺影を撮らせてください」つて。

新聞に、遺影が載るのは、著名な人か何か特別なことがなきゃならない：とか。高齢の女性の写真は敬意をもって撮影してたとしても、おばあさん”写真で、何だかなあ…とか。この文字数では動機はムニャムニャだが一年七ヶ月毎週、写真十六百字の連載で七六人を訪ねることになる。

で、おかぎさん、だ。私が住む京都から、関西一円の相手の家まで出むいていたのであつたから、土岐市のおかぎさんと出会えたのはたままだ。おかぎさんと



林 おかぎさん

は筆談した。生まれたのは土岐なんだけど、北海道にも住んでいたそう、雄大な夕陽の話をたっぷりきかせてくださった。

セピア色の写真——白黒フィルムで撮つてセピアに焼いていった——は、その後、何人かの方の、ご本人の式で使われて、いく。

以来、「遺影を」と依頼をもらうこともあつたが、一枚も撮らずにきた。「終活」という言葉も、まだ言われだす前に、一緒に冒険してくれた人たちと向き合つようにはできつこないし、丁度、手動でピントがあわせられない身体になってきていたしね。ああ、間に合つてよかったな、だな。おかぎさんが九六で私が四六で五〇歳も年上なんだな、とくらくらしてた。

私は、六一歳になつた。そうして、あのとき出会つた女の人が、今も私の五〇歳年上で、居てくださる——林おかぎさん。岐阜県の、最長寿。



野寺 夕子

## 経糸と緯糸、そして螺旋

昭和63年卒  
高橋美奈子

― 遍歴・郷愁・帰郷という円周運動を繰返している旅人がある―  
自然を愛し、旅を続け、美しい風景を描き残した日本画家、東山魁夷の言葉です。

高校の通学時、忠節橋の上から鮎が泳ぐのを眺めていた私は、地味で真面目、どちらかというと内向的な学生でした。一方で、異国に対する憧憬が強く、岐阜を離れて遠い国で暮らしたいと思っていました。生まれて育った故郷も、それまでの経験も私なりに大切にはしていたものの、それ以上に世界に飛び出し、未知の世界を見てみたいという好奇心が勝っていたのでしよう。

東京の大学に進学し、就職。二度の留学。アメリカで文化人類学と博物館学を学び、最初の職場では海外諸国との仕事、二度の転職。常に美術業界に身をおきつつも、気づけば「遍歴」の日々でした。現在は、国立文化財機構という組織で日本の宝である文化財の魅力を伝え、活用し、次世代に継承していく活動に携わっています。

岐阜を離れて三十三年。様々な世界を見て遍歴を重ねた結果、岐阜に生まれ育ったことを心から誇りに思い、岐阜DNAを意識し、故郷をとっても近くに感じている自分があります。そのきっかけの一つが、「万国博覧会の美術」という展覧会でした。それまで海外の文化を日本で紹介することに夢中だった私が、この展覧会に携わり、自分の生まれ育った日本の文化や芸術を世界に発信するこ

との面白さ、中でも日本の郷土文化がもつ魅力を再認識したのです。

一九世紀末から二〇世紀の日本はまさに万博ブーム。世界と肩を並べられるべく、国を挙げて、従来の工芸品・調度品をアートの域に高めて発信し、世界を驚かせました。パリ万博では大垣出身の大橋翠石が日本人で唯一金牌を受賞し、志野や織部に代表される美濃焼が高い評価を得ています。業界内で岐阜出身だと明かすと、

大抵の場合、「うらやましい」といわれます。岐阜は豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、工芸、美術、建築、デザインなど様々な分野で岐阜を象徴する作品が残されているからでしょう。円空仏の微笑みや志野焼の釉薬、水うちわの手仕事に故郷の温もりを感じ、川合玉堂の描く山河には原風景が重なり「郷愁」の念がわいてきます。

岐阜と自分を近づけてくれたもう一つのきっかけは、十年前の同級生との再会でした。以前は故郷に戻るたびに居場所を模索してばかりでしたが、同級生との縁で「帰郷」の楽しみが増え、人生が豊かになりました。螺旋状に円周運動を繰り返し、故郷

のDNAを経糸に、世界の事象を緯糸に紡ぐ。残りの人生もそんな旅を続けながら、岐阜、そして日本の魅力を伝えていこうと思っています。



## 北柳ヶ瀬市街地再開発とその後

昭和63年卒  
寺村建一郎

今回、会報誌への執筆は、一〇年前に続き、二回目ということになります。一〇年の期間を経て、当時の自分を取り巻く環境・当時の思いを振り返る機会をいただきました。

平成二四年三月末、父を理事長とする北柳ヶ瀬市街地再開発事業によるオアシス柳ヶ瀬ビルが完成。ビル建設自体に私は反対してしまいましたが、大きなビルが建つてしまうと一転、協力しなければという思いも強くなりました。

平成二五年、ビルの一階に鑑定事務所を移転。土業を続けながらの飲食業運営は大変な決断でしたが、平成二七年八月、父がかつて同じ場所で経営していた和食料理屋「丸金」にちなみ、Yamanashiという店をスタートさせました。

賃貸ビルの収支向上のための出店でしたが、売上のバラツキが大きく、なにしろ六〇坪の店舗を運営する人件費・食材費の負担は大きいものでした。

結果、平成二八年末には企画構想の段階からアドバイスをもらっていたツ



バメヤの経営者に店舗を譲渡し、同時に、不動産鑑定事務所も現在の市民病院付近に移転させて現在に至ります。

ただ、柳ヶ瀬地区も悪い要素ばかりではありません。毎月第三日曜日開催のサンデービルジングマーケットは若いファミリー層に定着。近年はファッションビルの跡地等にマンション建設が進み、直近では本通りと神田町通りの角に八百屋さんができるなど衰退商店街は「村」として再興しようとしています。

今年、五月には岐阜市役所がメディアコスモスの南側に移転。現庁舎の跡地利用も気がかりですが、柳ヶ瀬地区では、高島屋南再開発事業がいよいよ竣工し、令和五年二月竣工（予定）に向け、約三〇〇戸の分譲マンションを含む「柳ヶ瀬グランドスル三五」の開発が進んでいます。コロナ禍がいち早く収束し、一〇年後、柳ヶ瀬

が居住型の商業地として再興することを願って、文末とさせていたできます。



## 昭和六三年卒の岐阜年末同窓会

昭和63年卒  
長瀬 清

昭和六三年に岐阜高校を卒業し、岐阜大学医学部に進学後、そのまま岐阜大学医学部附属病院に奉職し二五年が経過しました。各務原市立稲羽中学の出身なので市外局番は〇五八三から〇五八二に変わりましたが、岐阜という井の中ですっと生活しています。

地元の縁にFacebookを活用し二〇一一年から毎年一月三〇日に昭和六三年卒の年末同窓会を担当してきました。

何よりも料理が美味しい、長時間飲み放題で貸し切り、お酒の持ち込みも可という難題を満たす店を探しました。大海を知らなくても、岐阜の事情に詳しく小回りが効くのは強みです。約一五〇名が参加するFacebookの昭和六三年卒岐阜高校同期グループを活用すれば、往復葉書も不要です。

ところで女性の参加なくしてこの同窓会は成立しません。私自身は三年時の理系選択で初めて男女クラスとなり、ここで人生の運を使い果たしたのではないかと錯覚しました。しかし高校生という多感な時期に男子クラスか男女クラスかという残酷

な事実を受け入れてきた男性陣に、高校生活の暗い記憶は想い出してほしくありません。女性に集まってもらえるお店選びは、幹事としてのこだわりでした。

昨年の同窓会はコロナ禍のためリモート開催でしたが、一昨年末で九年開催し延べ三〇〇名以上の参加者に恵まれました。

幹事はずっと私です。理由は単純です。岐阜に住んでいること、飲み会が好きなこと、そして誰もドタキャンしないからです。年末の繁忙もインフルエンザも無関係です。千切の嶽も百里の水も越えて必ず参加する同級生に毎回感謝です。こんなに律儀な同級生ばかりと書くと、同窓会参加へのハードルが上がりますが、会計はいつもピタリです。さすがは岐阜高校卒業生。

昨年は新型コロナ感染症には翻弄されましたが、また皆で集りたいものです。



## 岐高六三卒競走部

昭和63年卒  
鈴木 千秋

私達、昭和六三年卒業生の間には競走部があります。

主な活動の場はSNSグループへの投稿。自分が走った記録やランニング中の風景を投稿したり、故障の悩みを相談したり。都合が合うメンバーでリアルに一緒に走りましょう、ということもあります。

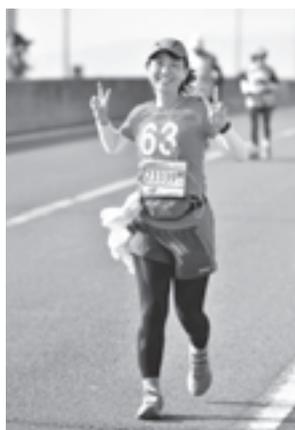
運動の苦手な私はランニングなんて自分とは無縁だと思っていました。ある時マラソン大会に出た同級生達からリアルで話を聞く機会が。あれ、SNSで見ると以上に楽しそう。そして聞けば「高校の時は走るのが苦手だった。」「いかにして体育の授業を休むか考えてたほどの運動嫌いだった。」「でも今は走れるのよ!!」

早速同級生と一緒にランニングシューズを買いに行つて皇居ランをする、という計画が立てられました。初めての皇居ラン。途中でエラクなつて歩いたりもしたけど、一周五km走つた後の気持ちのよいこと！体中ほかほかしている気分。走つて気持ちいいなんて初めての体験でした。

そこからは、自分で走つてはSN

Sに投稿、仲間にはめられ、励まされ、嬉しくなつてまた走る。皇居ラン+飲み会の企画に参加したり、岐阜に帰省した際に金華山や長良川と一緒に走る約束をしたりして、同級生との繋がりがも増えました。気付けば体力もついてハーフマラソンを走れるまでに。これも同級生と競走部のおかげです。

コロナ禍の現在はなかなかリアルで会うことは難しいのですが、早く気兼ねなく会つて一緒に走れる世の中に戻れるよう、願つてやみません。ちなみに、競走部のラン企画は飲み会からの参加もOK!ついでに、六三卒には、ラーメン部やカフェ部もあります♪やっぱり岐高同級生のつながりは素敵です。



## あのころの景色

平成10年卒

金田 正敏

一九九五年夏の早朝、学年で二つラスずつが参加した林間学舎（現在は「友学館」という愛称があるそうです。）を出発し、最初の目的地である「お花畑」といわれる場所まで登山しました。その後、希望する生徒限定で、さらに上の「ごっぴょう」と呼ばれた場所まで登ることになりました（いま調べると、西穂高独標のことだったのでしょいか）。登るにつれて植物がなくなり、人の頭大の大きさだった岩が、拳大に小さくなり、ごっぴょうとして不安定な足元に、最後は両手も使って登った記憶があります。

て、いつの間にか岐阜で生きた年月を超える期間、岐阜以外で住んでいくことになりました。高校の頃漠然と希望していた、日韓の国際的な仕事もさせてもらっています。

あれからはや二六年、まだ独標には登っていないし、あの頃みていた未来の自分の景色に立っているのかは、わかりません。

独標に立った時、運よくその日は快晴で、周りは三六〇度を見渡せるまさに絶景でした。真っ青な空に周りの学生の青いジャージ、音もなく空気はさわやかで、登山に全く期待していませんでした。強烈な感動として残ることになりました。思わず深呼吸した私は、こんなにも気持ちがいいのなら、いつかまた、すぐにも来ようと思っていました。

現在、私は東京で弁護士として働いています。大学進学時に東京に出

現在の高校には、当時あった旧体育館もプールも音楽室前の桜の木もなくなっていました。それでも、青春を賑やかで特別な場所にしてくれた岐阜高校は、思い出の中でも、完全な姿で私を懐かしい気持ちにも、恥ずかしい気持ちにもさせてくれます。

あの頃みていた景色をもう一度思い出し、いまの立ち位置を確かめています。そしていつかまた独標まで登ってみたいと思います。



## 近況報告

平成10年卒

山賀 篤

岐阜市内のやまが整形外科にて開業医として、父山賀寛（昭和四七年卒）とともに整形外科診療を行っています。私は岐阜高校卒業後、岐阜大学医学部を卒業し、名古屋大学整形外科のグループに入局し、愛知、三重県内の総合病院にて勤務、約七年間岐阜県外で暮らした後に岐阜市内に戻ってきました。

整形外科の中でもスポーツ整形外科を得意にしており、クリニックが岐阜高校の近くにあるため、現在でも岐阜高校の学生さんと接する機会が多くあります。スポーツ傷害の学生にスポーツ選手として自分の症状を正確に自分の言葉で伝えること、自分の体の状態を把握しセルフケアを行うことを伝えるよう努力をしています。岐阜高校の学生さんはそのような能力が高い方が多く、先輩として頼もしく感じています。

また整形外科開業医としての活動以外にJリーグFC岐阜のチームドクターを務めています。自分がチームに関わり出してからJ2下位に甘んじ続け、先々シーズンにはJ3に降格、先シーズンもJ2再昇格を逃

すなど成績面ではかなり苦しんでおります。大変なことも多いですが普通の開業医では経験できない体験、人とのつながりを持つことができ、感謝しながら活動を続けています。

大学卒業まで岐阜で過ごし、あまり自分の地元の魅力を感じていない所もあったのですが、愛知県や三重県でも暮らした後に岐阜に戻ってきたことで、岐阜の良さを再認識しています。現在地元の医療に貢献できることに誇りと感謝の気持ちをもって日々診療に当たっています。



## 学校現場に関わる弁護士として

平成10年卒  
小森 正悟

岐高での思い出。旧体育館を黒マ  
ルチで遮光して演劇をした文化祭、  
真剣に勝利を追求した球技大会（ソ  
フトボール）、原発の是非について  
討論したディベート大会への出場な  
ど…。私は、小中学校で集団生活に  
おける規律を（嫌というほど）学ん  
だせいか、岐高では、先生方からい  
くらかのお目こぼしを頂戴したこと  
も含め、とても自由を感じた。文武  
の能力だけではなく、自由な環境下  
における仲間との活動から得た経験  
が、今の自分の公私に繋がっている。

今私は弁護士として一八年目であ  
るが、これまで学校法務に注力して  
きた。私が弁護士となったころは、  
学校運営に弁護士が関わることは一  
般的ではなかったが、私の恩師が県  
教委に入られたことが契機となり、  
学校現場から直接弁護士に相談する  
仕組みが構築された。学校法務とは、  
学校で生じる様々なトラブルに対し  
て法的観点から助言しつつ、最も適  
切な教育機関としての対応を教職員  
と一緒に考えるという業務である。  
私はまた、教育機関における法教  
育の普及をライフワークとしてお

り、自ら学校で法教育授業をしたり、  
会所属の弁護士を学校に派遣してい  
る。法教育とは、正解が無い課題に  
対して法的なものの方・考え方を  
用いてアプローチする能力を育むと  
いう教育であるが、将来を担う子ど  
もたちにとって不可欠な資質である  
と確信している。

今後も、弁護士として有事・平時  
に学校現場に深く関わることで、学  
校という「学び・経験の場」を守っ  
ていきたいと考えている。そして、  
自身が経験したように、一人でも多  
くの児童生徒が、後から肯定的に振  
り返られる学校生活を過ごすことに  
繋がれば、望外の喜びである。



## 原点は変わらない新たな一歩

平成10年卒  
森田 恵

同窓会会報誌への寄稿依頼があ  
り、高校時代を振り返りました。高  
校時代はとにかく勉強に追われた記  
憶が大半ですが、楽しい記憶も残っ  
ています。高三の後藤道子先生が担  
任の時の文化祭。文化祭前に毎日遅  
くまで残ってクラス全員が一致団結  
で製作に取り組んだジャングルのア  
トラクション。ワニの口の中を通つ  
たり、大きな石が転ってきたり、教  
室に池を作って水を貯めたり…当日  
は参加者全員が楽しんで帰ってくれ  
たことがうれしかった。思うと、こ  
の頃から仲間と一緒に作って人を喜  
ばせることが好きだったのだと。

大学を卒業してから今年の二月ま  
で一八年間、名古屋の菓子メーカー  
春日井製菓で商品開発の仕事をして  
きました。五〇〇六〇品の新商品を  
世に送り出しました。商品開発も  
テーブルで作れても工場ラインでの  
スケールアップでは同じ様に作れま  
せん。工場の人達と一緒に作って機  
械を改良して配合を改良して商品を  
作り上げてきました。つづグミ担当  
時には母校に つづグミを送ろうキャ  
ンペーンで岐阜高校にも つづグミを

寄贈。お菓子を通じて世の中の人を  
幸せにしたい。そんな思いで開発を  
してきました。

現在は三児の母。子育てをしながら  
毎日片道一時間以上の通勤をしつ  
つ、時短勤務で子育ても家庭も仕事  
もそこそこというスタンスで。休日  
には子供たちと市民菜園を借りて野  
菜作りをしたり、釣りやスキーに出  
かけたり。

コロナ禍で自宅を過ごす時間が増  
え、自分の価値観を改めて見直し、  
長い人生の中、違う世界も見たい。  
と、思い切って転職を決意しました。  
名古屋の老舗マスクメーカー白鳩で  
マスクの企画開発をします。新たな  
一歩。楽しみつつクリエイティブに人  
が喜ぶモノ作りができればいい!!



## 令和3年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会・懇親会運営委員会 名簿

卒業年	氏名	執行部	事務局	イベント	会場	MA	広告	会報 HP	名簿	広報	総務 財務	監査
昭和52年卒	村上 啓雄					○						
昭和53年卒	篠田 成郎	委員長										
	加藤 仁	副委員長	◎									
	松山 高広	副委員長		◎	○							
	香田 和宏	副委員長		○	○							
	中風 明世	副委員長					◎	◎				
	河嶋 廣	副委員長			○		○	○	◎	◎		
	江良 寿泰	副委員長					○			○	◎	
	高橋 研二	副委員長			◎		○					
	平岡 美穂		○									
	篠田 素子				○							
	福生 幸江				○							
	永井 弘文					○						
	永田 知里						○					
	早川 博一						○					
	田中真理子						○					
	佐久間直子						○					
	竹中 浩一						○					
	刈谷 悦利											○
昭和63年卒	東明 裕	副委員長			○		○	○	○	○		
	寺村建一郎	副委員長					○	○				
	長尾 博	副委員長		○			○					○
	川島 典子				○							
	山岸 直子				○							
平成10年卒	木村 裕子	副委員長		○	○			○	○	○		
	山賀 篤	副委員長		○	○			○				
	大堀 瑠美							○				
	井上 愛							○				

◎責任者 ○担当者 MA: メディカルアドバイザー

# 高 岐 高 だ よ り

第142号

令和3年3月1日  
 岐阜県立岐阜高等学校  
 PTA会長 笠原 幸治  
 印刷/ヨツハシ美術  
 題字/筑間 敏博

## CONTENTS

- 新たなことへの挑戦を
- ストレス社会の処方箋
- 今を生きる
- 卒業を祝して
- 令和3年度コース選択・科目選択の結果
- 「百折不撓・自強不息」を胸に刻んで!
- 大学入学共通テスト自己採点結果
- 大学入学共通テスト
- 2021年度大学入試出願状況(現役生のみ)
- 大学入学共通テストを振り返って
- 困難を乗り越えた先に
- 3年間の思い出
- 3年間皆勤賞・同窓会幹事
- 第10回「科学の甲子園」全国大会
- グローバルリーダー養成事業から珠玉の言葉
- 化学グランプリ2020 日本化学会賞受賞
- 第二回 学校評議員会(審議会)報告
- 部活動だより

学 校 長	……p1
PTA 会 長	……p2
3年学年委員長	……p2
3年学年副委員長	……p2
教 務 部	……p2
進路指導部	……p3
進路指導部	……p3
進路指導部	……p3
進路指導部	……p4
進路指導部	……p5
三年次主任	……p6
3年学年会	……p6
3年学年会	……p6
理 科	……p7
進路指導部	……p7
理 科	……p7
教 頭	……p7
特別活動部	……p8



▲共通テスト激励▶



三年次生の皆さん、ご卒業おめでとう  
 ございます。  
 昨年から続く新型コロナウイルスの感  
 染拡大はまだまだ終息が見えない状態であ  
 り、国内国外を問わず混乱が続く中、私  
 たちは不安を抱えながら生活をしていま  
 す。こうした状況の中、医療機関、行政  
 機関など様々なところで、昼夜を問わず、  
 必死に感染拡大防止へ向けた対応に取り  
 組み続けておられる方々がいらっしやる  
 こと、またその方々への感謝の気持ちも  
 忘れてはなりません。これまで、これほ  
 ど健康管理の重要性を実感することはな  
 かったのではないのでしょうか。今までの  
 当たり前が当たり前ではなくなったりと  
 にどのようになら生活していくのか。そうし  
 た中、皆さんはこれまで高い意識をもつ  
 て健康管理に努め、高校生活を送ってき  
 てくれました。こうした状況だからこそ、  
 皆さんは自分の将来の夢、職業について  
 より一層考えを深めたことと思います。  
 大学で何を研究するのか、あるいはそれ  
 を踏まえて社会にどのように貢献するの  
 か、ということもその一つでしょう。こ  
 うした思いを胸に、これから皆さんはそ  
 れぞれの夢、思いを実現するために行動  
 していくことと思います。玄田有史は「希  
 望のつくり方」で、「希望とは行動によつ



学 校 長  
折戸 敏仁



## 新たなことへの挑戦を

て何かを実現しようとする気持ち」とい  
 うように述べています。皆さんにとって將  
 来こうありたい、という具体的な「何か」  
 はすでに持っていると思います。ですが  
 から、それを「実現する」ためにどのよう  
 に「行動」するかがこれから大切になるの  
 ではないでしょうか。  
 私は皆さんの入学式において、高校三  
 年間で身に付けてほしい力として三つの  
 提案をしました。それは読書を通しての  
 豊かな教養、様々な活動を通して得られ  
 る経験「知」、そして新しいことに挑戦す  
 る力です。皆さんがこの三年間に本校で  
 様々なことに挑戦する姿をすばらしいと  
 感じながら見てきました。本校における  
 皆さんの充実した三年間の過ごし方(行  
 動)は必ず次のステージへつながってい  
 くものと考えています。  
 様々な分野で、岐阜県だけでなく、日本、  
 あるいは世界をリードするとともに、常  
 にふるさと岐阜を忘れることなく、どこ  
 においても、生まれ育った岐阜に貢献する  
 ことを忘れない、高い志とグローバルな  
 視野をもって未来を切り拓いていく、ま  
 さに「グローバルリーダー」として、「百折  
 不撓 自強不息」の校訓のとおり、強い精  
 神力をもって、挑戦し続けてくれること  
 を期待しています。



第10回「科学の甲子園」  
全国大会10年連続で出場

3月19日(金)からの3日間、茨城県つくば市で第10回全国大会が行われます。本校は、第1回に出場して以来、10年連続で全国大会に出場しています。

- 今年のメンバーは次の8人です。
- 生駒 ひなた(2年6組)
  - 安藤 祐翔(2年1組)
  - 小林 研人(2年1組)
  - 大河 栄貴(2年2組)
  - 吉村 公佑(2年3組)
  - 瀬花 雄大(2年6組)
  - 羽賀 天音(2年6組)
  - 松井 博雅(2年6組)

県内外の学校を招いて例年実施している合同学習会を、今年度はオンラインで実施しました。思うように活動できない日もある中で、何とか11月の岐阜県大会で県の代表に選ばれました。第6回大会に続く2回目の優勝、アメリカでのサイエンスオリンピアド出場を目指して頑張っています。

大会の日程

- 3月19日(金)
- 開会式
  - オリエンテーション
  - 筆記競技
- 3月20日(土)
- 実技競技①化学分野
  - 実技競技
  - 公開競技(情報分野)
  - 実技競技
  - 公開競技(総合競技)
- 3月21日(日)
- 表彰式

グローバルリーダー  
養成事業から珠玉の言葉

最先端科学体験プログラム

技術社会系 12月16日(水)・12月23日(水)

講師：岩本吉則氏・太刀川友彦氏

(岐阜かがみがはら航空宇宙博物館)

日本が飛ばす宇宙ロケットは、愛知県で開発・製造が行われており、その部品を岐阜県を含むこの地域で生産しています。その結果、岐阜県の航空宇宙産業の事業所数は全国2位で、出荷額も全国3位なのです。



12月9日(水)

講師：廣村正彰氏(廣村デザイン事務所)

本来、人は直接伝え合うべきで、それが不可能な時に初めてサインデザインが必要とされる。デザインは「何を伝えるか」ではなく、「どう伝えるか」という視点で考えなければならない。目指すものに対して、道が一つだけであるとは限らない。普通とは違った方面からアプローチをしていくのも発見があって面白い。



化学グランプリ2020 日本化学会賞受賞

3年2組 榎原 和真

本校生徒の榎原和真くんは、10月に行われた化学グランプリの全国大会で、総合成績1位となる日本化学会賞を受賞しました。この大会は、例年、化学分野の難問に取り組み筆記競技の順位と、男子選成績上位者を対象とした実験競技の総合得点で順位が決まる、高校生を対象とした化学の知識・技能を競う最高峰の大会です。今年はコロナ禍で大会の実施も危ぶまれましたが、開催時期を遅らせ、男子選も全国大会もオンラインで行うという異例の実施となりました。榎原くんは、昨年2年次生の時も同大会に挑戦していましたが、当時高校2年生の中では県で1位となる賞を受賞するも、残念ながら全国大会への出場は逃していました。今年こそはその意気



第二回 学校評議員会(書面会議)報告

教頭 下野 宗紀

学校評議員会は、学校外の各方面の皆様から意見を伺うことにより、開かれた特色ある学校づくりを推進するために開催するものです。第二回は今般の状況に鑑み、第一回に続いて書面会議として、二月初旬に実施しました。

【学校評議員】(敬称略 委員名は五十音順)

- ・伊在井みどり 安江病院 院長
- ・岩井久実子 元PTA役員 薬師附
- ・高木 敏彦 岐阜県教育文化財団理事長
- ・中村こず枝 岐阜市健康部長兼保健所長
- ・西津 貴久 岐阜大学 教授

【学校側担当者】

- ・折戸 敏仁 校長
- ・笠原 幸治 PTA会長
- ・村山 寛和 事務部長
- ・市川 浩通 教頭
- ・下野 宗紀 教頭
- ・関谷 篤 教務部長
- ・杉山 晴美 生徒指導部長
- ・立川 喜教 進路指導部長

【会議資料の概要】

- (一) 第二回学校評議員会資料
  - ・令和二年度学校経営計画進捗管理、自己評価等
  - ・生徒及び保護者アンケート集計結果
- (二) その他参考資料

込みで臨んでいたものの開催の延期が続き、大学入試の準備がある中でも、全国大会に向けた学習を積み重ね、見事、岐阜県出身者では初となる全国1位に輝きました。またこの成績に対し、顕著な成果を挙げ岐阜県の名を高めたとして、岐阜県から「清流の国さふ栄賞賞」が授与されました。

榎原くんは岐阜高校に入学後、自然科学部化学班の活動でも数々の賞を受賞してきましたが、高校で参加した最後の大会で日本一となる栄冠をつかみました。大学に進学しても、大いに活躍してくれることでしょう。

主なご意見・ご提言の内容

●意見①：デジタルツールの効果的な活用により、子ども一人一人の能力に応じた質の高い教材、講義を提供できるようにしていくと思います。一方でデジタル化やオンライン化が進めば進むほど、現実感、いわゆるリアル感の価値が高まることもあると思います。文化芸術の育成、豊かな人間性の確保、道徳観の醸成等は、デジタル化のみでは得られないのではないかと考えております。

●意見②：オンライン配信により、もし県内各高校を結んで一つの講義を受けることが可能となれば、本校から、グローバルリーダー養成事業の高名な講師の講義を他校へ配信できたり、他校の新たな試みを本校も一緒に体験できたりするようになりますね。

●意見③：保護者・生徒によるアンケートの集計結果によれば、学校の多くの取組に対して、高い評価が高く、これは保護者・生徒が学校に高い信頼をおいておられることの証といえます。今後こうした関係を続けていくために、重点目標に対する不断の取組に期待します。受験生の皆さんが、異例な状況も難なく乗り越えられることを期待しています。



## 岐高祭代替行事

動画制作・鑑賞会を振り返って

1年6組 小島 理貴・長屋 晃生

新型コロナウイルスの影響で岐高祭が中止となり、どこか物足りないと感じていた私たちの心のモヤモヤを、この行事は払拭してくれました。

私たちのクラスは、6つのグループに分かれ、それぞれ一つずつ有名映画のパロディ動画を作成しました。最初はなかなか撮影が進まず不安なところもありましたが、最終的には、撮影の楽しさのあまりに気が付けばあっという間に動画が完成していました。この動画制作では、仲間との友情が深まり、皆で一つの物を創造することの大切さを学びました。鑑賞会は、撮影を思い出し、終始笑顔が絶えない楽しい時間となりました。また、私たちの作品は他クラスからの評判も良く、大変満足いく結果となりました。

この行事は、コロナ禍に負けず、仲間と協力して過ごした忘れられない思い出です。



## 岐高祭代替行事を振り返って

2年4組 池戸 優輔

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で岐高祭がなく、みんなの気分も落ち込んでいた中、代替行事として2年次生では「ユーチューバーになろう」が行われました。どのグループの映像作品も完成度が高く、それぞれの個性が出ている素晴らしいものだと感じました。

動画作成の準備をするにあたって、仲間と意見を出し合い、笑顔で活動する姿が多く見られました。そのような、企画に対して全力で楽しもうとする姿からも、岐高生の前向きな気持ちを感じた気がします。クラス内での鑑賞では、それぞれの映像作品に込められた思いと多くの時間を費やして努力していた仲間の姿が目につきました。行事が少なくなった中で、最高の思い出になったと思います。そして、ここまでは一生懸命になれる岐高生だからこそ、来年度は岐高祭が開催できることを願い、楽しみにしています。



## 球技大会を終えて

3年8組 間宮 千景

新型コロナウイルスにより多くの活動に制限がかかる中、コロナ対策のもと球技大会を開催する事が出来ました。

年次ごとの開催により昨年までと比べると小規模ではありましたが、今年初となる大きな行事に向け、優勝を目指し練習に取り組み姿がみられました。正々堂々と戦い応援し合うことで一体感のある球技大会となりました。また、準備、審判をはじめ運営に欠かせない役割を自分達で担い生徒主体で進行できました。

まだまだ社会に不安が残る今、私達3年生にとって高校最後の年に仲間と共に励み悔しさや喜びを共感できた事はかけがえない思い出です。開催にあたり多大なご協力、ご配慮いただいた全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 後期生徒会発足

後期生徒会長 谷 仁美



上段定から	書記	書記	書記
会計	兼村真祐	石井温尋	横畑慎治
宇野美桜	(1-1)	(1-7)	(1-7)
下段定から	副会長		
会長	兼見幸太郎		
谷 仁美	(2-8)		

日頃より生徒会にご協力頂きありがとうございます。

さて、この度無事に後期生徒会が発足しました。後期も個性的な6人が集まったと思います。後期は前期と比べやや大きな仕事は少ないですが、その分余裕があるため、積極的に皆さんの声に応えていけると思います。何か生徒会に要望がありましたら、是非ご意見ボックスや生徒会室に気軽にお寄せください！生徒会は生徒のためにあるものです。役員全員で一丸となって皆さんのために働いていきたいと思っております。それでは後期生徒会にご協力よろしくお願いします。

## サッカー部 活動報告

部長 柴田 拓希

私たちサッカー部は、部員総勢四十二名で県大会優勝、全国大会出場を目標に活動しています。昨年度、岐阜県二部リーグ(G2リーグ)において優勝し、念願の一部リーグ(G1リーグ)への昇格を果たしました。今年度はコロナ禍の中で、満足いく練習ができず、リーグ戦も延期となってしまいました。八月末にようやくG1リーグが開戦し、十一月末時点での成績は一試合を残し二勝六敗の十チーム中九位と苦戦しています。県内の強豪チームの技術の高さ、球際の強さを体感し、苦戦しながらも一試合ごとに確実に成長しているのを感じています。

また、ピッチの外においても、スカウティング係が次の試合の対戦相手の特徴を分析して部員に共有し、学習係が部員の学習時間を管理して文武両道の実践に努めさせるなど、部員一人一人が主体となってチームのために活動しています。十月に行われた高校サッカー選手権の県予選では、ベスト八をかけた試合で各務原高校に敗れてしまいました。この悔しさを決して忘れず、新人戦やインターハイにおいて目標である県大会優勝を果たすため、一戦一戦を大切に、日々の練習に愛憎せず取り組んでいきます。



# 高 岐 高 だ よ り

第140号

令和2年7月30日  
岐阜県立岐阜高等学校  
PTA会長 笠原 幸治  
印刷/ヨツハシ共  
題字/筑間 敬博

## CONTENTS

●「今だからこそできること」	進路指導部…………… p1
●第1回学校評議員会(書面会議)報告	教 頭…………… p2
●充実した夏休みを過ごすために	生徒指導部…………… p3
●教育相談室より	生徒指導部…………… p3
●令和2年度PTA総会	PTA副会長…………… p4
●「如何なる有事でも対応できるように」	3年次委員長…………… p4
●3年次生の親になって	3年次副委員長…………… p4
●「2021年への種」	2年次委員長…………… p5
●変わろうとしている常識	2年次副委員長…………… p5
●高校3年間での学び	1年次委員長…………… p5
●有り難い日々	1年次副委員長…………… p5
●オンライン学習支援事業について	教 務 部…………… p6
●「オール岐高」で新型コロナウイルスと戦っていきましょう!	保健主事…………… p6
●読書を通じて世界を広げよう	図書・視聴覚部…………… p7
●前期生徒会発足	生徒会長…………… p7
●団旗と太鼓を寄贈していただきました	応援団…………… p7
●部活動だより	特別活動部…………… p8
●ヨーロッパ物理オリンピック(EuPhO)出場が決定	自然科学部…………… p8



▲生徒会立会演説(オンライン投票)



▲書道部「白球に込める 全て」

### 「今だからこそできること」 進路指導部

#### 1年次生のみなさんへ

4月・5月の臨時休校後、6月になって最初の2週間は分散登校、その後ようやく通常の学校が再開されました。オンライン授業を受けてきたものの、学習のモチベーションを継続することは困難だったことかと推察します。様々な行事も中止や延期となり、例年できることができない状況に陥ることもあるかと思えます。しかし、このコロナ禍と言われる中でも、できることを探して前向きに進むことを願うばかりです。

岐阜高校へ入学して初めての夏休みを迎えます。本格的な高校生活はまだ2ヶ月ほどしか経っていませんが、岐高生になれましたか。夏休みという言葉に気が緩むようでは、まだ岐高生になれていません。ただ何となく授業がない解放感だけで、時間を無為に過ごせば虚しさだけが残ります。自分で工夫して活用できる時間が十分にあるので、自分のやるべきこと、やりたいことをしっかりと自覚して、朝から晩までとんとん取り組んでください。入学以来の3ヶ月間を膨らませる人もいるだろうし、取りこぼしたことを補う人もいるでしょう。いずれにしても自分にできる精一杯のことを実践して飛躍できる夏休みにしてください。

通常授業も部活動も再開され、60分で6時間の日もあり、忙しい日が続ききました。しっかりと復習したいけど十分に取組めなかったり、発展的な学習に取り組みたいと思っても、翌日の予習や小テストの勉強のためにできなかったり、いろいろな思いがあったのではないかと思います。

また、今年は残念ながら実際に大学を訪問する形のオープンキャンパスに参加することは困難ですが、ウェブオープンキャンパスを開催する大学もありますので、志望大学のホームページで確認し、ぜひ積極的に参加して大学についての情報を収集してください。また、FPTで取り組んでいる講義動画の視聴も、一つでも多く見て、知識を深めるとともに、自分が進みたい分野について考えてください。

#### 2年次生のみなさんへ

今年の夏休みは例年より短いですが、自分の考えで使える貴重な2週間です。臨時休校中も含めてこの3ヶ月間での反省をもとに、不完全な内容の復習を行ったり、興味のある発展的な内容に積極的に取り組んだり、深く考えたり、完璧に覚えたり、理解できるまでとことん追求したり、この3ヶ月間でできなかったこと、やり残したことを取り戻すには貴重な機会です。この時間が無駄にならないよう、学習や部活動を追求していく、探究していく日々を過ごして、学習面や体力面で成長できる夏にしてください。学校が再開する8月末には、みなさんがさらに成長して新たな良いスタートを迎えることができることを期待しています。

2年次生のみなさんは学校の中核と言われ、中心となって活動することが多く求められます。この先どうなるか分からないことも多くあり不安を感じる人もいるでしょうが、今こそ目標を明確に設定し、その目

## 部活動だより 部活加入一覧

(令和2年7月9日現在)

体育系		所属生徒数									
部名	顧問	男子				女子				合計	
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
硬式野球	北川(英) 八代 古川(統) 若山	10	7	13	30	3	4	0	7	37	
陸上競技	柘植(由) 堀 早水	8	16	11	35	3	12	7	22	57	
サッカー	柘植(望) 安達 田口	17	22	17	56	3	0	1	4	60	
バレーボール	寛田 下畑 津田 杉山(晴) (岩倉)	8	5	3	16	12	5	3	20	36	
バスケットボール	小澤 瀬川 三浦 杉山(秀)	16	8	11	35	3	8	9	20	55	
ソフトテニス	大野(準) 堀口 林	7	12	5	24	8	7	5	20	44	
水泳	糸井 前田	14	9	3	26	1	5	3	9	35	
卓球	塩澤 古川(愛) 生駒	15	5	14	34	5	4	3	12	46	
バドミントン	石井 関谷 川村 長屋	11	6	6	23	16	6	10	32	55	
柔道	水谷 伊藤(誠) (新井)	1	1	2	4	0	2	0	2	6	
剣道	小野 永瀬	4	5	7	16	4	5	2	11	27	
軟式野球	立川 及川	11	11	11	33	2	1	1	4	37	
テニス	加藤 尾関 田中 樹下 (丹羽)	18	10	21	49	10	8	5	23	72	
ハンドボール	滝井 藤澤 (正田)	6	7	9	22	1	2	1	4	26	
体育系合計		146	124	133	403	71	69	50	190	593	

文化系		所属生徒数									
部名	顧問	男子				女子				合計	
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
美術	日置 末岡 (伊藤(茂))	0	0	1	1	2	5	3	10	11	
書道	筑間 石神	0	0	0	0	7	4	10	21	21	
演劇	井上 坂本	1	3	5	9	5	6	6	17	26	
音楽	岩崎 栗田	0	0	1	1	1	5	2	8	9	
文芸	武藤 鷺見	1	2	4	7	2	3	1	6	13	
茶華道	福田 藤吉 (横井) (永井)	0	0	0	0	4	6	4	14	14	
自然科学	森(有) 日比野 岩田 太田 櫻橋 (園部)	14	12	22	48	3	7	7	17	65	
E S S	大野(麻) 岸本 奥田	1	5	6	12	17	8	8	33	45	
調理	亀山 大橋	0	0	0	0	8	9	10	27	27	
写真	村橋 籠橋	5	3	2	10	5	7	2	14	24	
囲碁・将棋	井深 北川(雅)	10	12	9	31	0	0	0	0	31	
吹奏楽	白木 谷口 木野村 (松山)	5	2	6	13	14	17	19	50	63	
クイズ研究	澤田 大野(玲)	19	28	8	55	7	5	2	14	69	
文化系合計		56	67	64	187	75	82	74	231	418	

局		所属生徒数									
局名	顧問	男子				女子				合計	
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
図書	加納 (鷺見)	2	0	4	6	3	6	3	12	18	
放送	森(有) (黒井)	3	2	2	7	0	2	2	4	11	
応援団女子	古川(愛)	0	0	0	0	7	9	2	18	18	
局合計		5	2	6	13	10	17	7	34	47	

### ヨーロッパ物理オリンピック(EuPhO)出場が決定

3年1組 辻 圭汰くん

本校生徒の辻圭汰くんは、この度、7/20日～7/26日に開かれるヨーロッパ物理オリンピックに日本代表として参加することになりました。ここに至るまでのおよそ1年間は、非常に長い道のりでした。

昨年8月、国際物理オリンピック日本代表候補選考会(物理チャレンジ全国大会)が開催され、流体力学や重力波など高校の物理で扱わない内容の理論試験や、電子回路を使った測定など5時間にわたる実験試験など、非常にレベルの高い試験が行われました。岐阜県予選を勝ち抜いた本校の辻くんはこの大会に出場した結果、6名に与えられる金賞を受賞、高校2年生以下の最優秀賞であるPreferred Networks賞を受賞、さらに12名の日本代表候補に選ばれました。その後も、秋・冬の合宿や、各月の添削指導、春に行われた最終選考試験に参加し、今年4月に見事、国際物理オリンピックの日本代表選手5名の中に選ばれました。

コロナ禍の影響により国際物理オリンピックは今年度実施の中止という非常に残念な決定がなされましたが、代わりに日本代表チームはヨーロッパ大会へのオンラインでのゲスト参加が認められました。世界の高校生と競い合う中で、大いに楽しみ、活躍できるよう、1ヶ月後の本戦に向けて準備を頑張っています。



# 高 岐 高 だ よ り

第 139 号

令和2年5月15日  
岐阜県立岐阜高等学校  
PTA会長 笠原 幸治  
印刷/ヨツハシ様  
題字/筑間 敏博

## CONTENTS

●今こそ「百折不撓」「自彊不息」の体現を	学校長……………p1
●COVID-19がもたらすもの	PTA会長……………p2
●第9回科学の甲子園全国大会	進路指導部……………p2
●シンガポールでのフォーラムに参加	自然化学部……………p2
●心豊かでたくましい岐高生をめざして	生徒指導部……………p3
●今こそ主体的に行動しよう！	進路指導部……………p4
●令和2年度 進路指導計画	……………p4
●令和2年度 大学入試結果	……………p5~6
●第6回アメリカ東海岸研修事前研修	進路指導部……………p6
●第2回マレーシア ボルネオ研修事前研修	……………p6
●各学年団紹介	年次主任……………p7
●転・退職者代表お別れの言葉	……………p8
●令和2年度 教職員人事異動	……………p8



▲校舎と桜



▲入学式 新入生総代宣誓

現在、新型コロナウイルス感染症拡大により世界は大きく揺れ動いています。また、我々はこの終息が見通せない中で、不安を抱えながら生活をしています。一方、医療機関、行政機関など様々なところで、昼夜を問わず感染拡大防止へ向けた対応に取り組んでおられる方があることも忘れてはならないことです。

さて、こうした中、四月十日に令和二年度岐阜高校入学式を挙行し、三百六十名の新入生を迎えました。

本校は、明治六年の創立以来、今年で百四十七年の歴史を刻む、全国的にも屈指の歴史と伝統を誇る学校です。また、校訓に、「百折不撓、自彊不息」を掲げ、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすような様々な教育活動に取り組んでまいりました。これまで、四万六千人を超える卒業生が、国の内外を問わず、各界において輝かしい成果を挙げ、活躍しておられます。

校訓にある「百折不撓」は、どのような困難に出会っても決して怯（ひる）むことなく、限りなく挑戦し続けることを意味しており、「自彊不息」は、常に怠けず、自ら努め励むことを意味しています。このように校訓には、岐阜高校において強い精神力をもって、常に夢の実現に挑戦できる人間になってほしい、という思いが込められています。



学校長 折戸 敏仁

### 今こそ「百折不撓」「自彊不息」の体現を

ます。また、今こそ新入生の皆さんには「百折不撓」「自彊不息」の校訓の意味するところを体現してほしいと思っています。

入学式では、新入生に対してそれぞれが持つ夢や希望を叶える方法の参考として、高校生活において期待することを二つ話しました。

一つ目は、与えられることだけでなく、自ら求めて学んでほしいということです。授業が再開されるまでは各自、家庭で学習することとなります。今こそ、自らのペースで学び深めていくよいチャンスです。ここでの疑問は授業が再開されたときに解決につながり、より一層深い理解へとつながります。

二つ目は、この三年間で大いに本を読み、読書を通して幅広い知識や豊富な語彙を身につけ、思考を深めてほしいということです。社会が大きな不安を感じている今の状況だからこそ、読書を通して視野を広く持ち、気づいたこと、得られたことをプラスの方向でとらえてみてほしいと思います。今まで自分の中にはなかったものの見方、考え方に気づき、やがて、それは豊かな教養となり、思考の幅を広げ、様々な決断に当たり、多くの選択肢を与えてくれるようになります。

本校では、お子様が自分自身の将来像を描きつつ、充実した高校生活を送り、将来の夢をかなえていただけるよう全教職員が全力で教育活動に当たっております。

保護者の皆様におかれましては、どうか、今後とも本校の教育活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# COVID-19がもたらすもの



PTA会長  
笠原 幸治

COVID-19が猛威を振るい、先が見えないとても不安な日々が続いています。不安からくるプレッシャーや自粛によるストレスが弱い所に向けられ、家庭内暴力や虐待につながる可能性があります。経済的な回復が見込めなくなると自殺などの深刻な問題へ広がっていくことが懸念されています。親として冷静に少しでも早く普段の生活を取り戻し、子供達が安心して学べる環境が整えられるよう、願っています。

歴史をみると、感染症による学校の休校などの状態は、必ずしも教育に悪影響だけを与えるとは限りません。万有引力の着想に代表される「ニュートンの三大業績」は、ベスト回避の疎開の時に、じつくりと思考に充てる時間を得たことで生まれたものであるようです。イギリスにとって歴史的な災厄が続いた年月に、イギリスの誇る宝が誕生することにもなったのです。感染症拡大の背景には航海での交流や交易の広がりがあり、経済の不平等や格差が解消され世界は格段に豊かになった時代でもありました。近年では2003年にSARS、2009年に新型インフルエンザの感染拡大がありまし

たが、今回の爆発的感染は「格安航空会社社」や「爆買い」などの新語・流行語に象徴されるように国境という壁が低くなったことが要因であると思います。しかし、中世の頃のような迷信や風評に惑わされることなく、医学の力を信じて克服するための戦いを行っています。

私たちは今回のCOVID-19流行により休校や不要不急の外出を控えるなどの行動制限を求められ、危機回避のために行動しない、すなわち恐れることの重要性を学びました。この困難な状況の中で、学校はオンライン授業への切り替え、仕事ではテレワークといった新しい形での活動が生まれています。多くの岐阜生は国内だけでなく世界へと活躍の場を求め、親元を離れます。無防備に飛び出して行かれることも困りますが、感染症と同様に新天地を恐れ、親元を離れないといった道を選ばれるのも困ります。子供達にはリスクを回避できる知恵を持ってそれぞれの世界を豊かにするため、果立ってもらいたいと願っています。

末筆となりますが、今年度PTA会長を務めさせて頂くこととなりました。先生や地域の方と共に子供達のための活動を精一杯行っていく所存です。皆様方のご理解・ご協力・ご参加を頂きますよう心からお願いを申し上げます。

## 第9回

### 科学の甲子園全国大会

埼玉県さいたま市で三月二十一・二十二日に開催される予定であった、第9回科学の甲子園全国大会は、新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、中止となりました。

大会に参加する予定であった生徒は夏休み前から何度も学習会を重ねて、知識や技術、チームワークを鍛えてきました。本校チームは県予選での優勝を受け、公表された実技競技③公開競技「積んで埼玉」(自作の自動で止まる台車によるブロック運搬競技)に向けた、機体の開発を進めているさなかでの中止の決定でした。今年のメンバーは実力者揃いで、第6回大会以来の総合優勝が期待できるチームだっただけに、中止の決定は大変残念でした。大会に向け取り組んだ貴重な経験を、今後の活動で生かしてほしいと思います。後輩の皆さんは、第10回大会での総合優勝を目指し、今後の学習会に参加してみてください。



▲岐阜県代表 岐阜高校メンバー

## シンガポールでのフォーラムに参加

自然化学部化学班 3年 榊原 和真・白井 良明

シンガポールのHwa Chong Institutionで1月13日～17日に行なわれたInternational Science Youth Forum (ISYF) 2020に化学班の2名が参加し、研究発表と共に、世界の国々から参加した科学研究を行なう同年代の学生と意見を交わしてきました。ISYFは毎年シンガポールで開催されるフォーラムで、今年は19か国から44校、120名以上の学生が参加していました。化学班は、昨年10月に行われた高校化学グランドコンテストにおいて、「高吸水性高分子の吸水の仕組みの解明と溶液中の陽イオンの関係」(英題“The solution of water absorption mechanism of Super Absorbent Polymer and the relationship with cations in aqueous solution”)と題した研究発表で、読売新聞社賞を受賞し、日本から唯一このフォーラムへ招待されました。交流を深める中で、研究の背景にある国々の特徴や文化について大いに学び、期間を通じ英語のみで行なわれる国際交流の大切さを肌身で感じました。この貴重な体験を後押ししていただいた皆様に感謝すると共に、さらに研究を深めていきたいと思ひます。



# 岐阜県立岐阜高等学校

## 学校案内2020 SCHOOL GUIDE

### 岐高生の活躍

「国際青年科学フォーラム(International Science Youth Forum)」参加



自然科学部化学班

物理チャレンジ全国大会(国際物理オリンピック日本代表候補者選考会) 金賞



3年次 辻重次

### グローバルリーダー養成事業2019

#### I 基調講演会(同窓会主催)

「JR東海の「挑戦」と「人づくり」  
～リニアが拓く日本の未来～」



東海旅客鉄道株式会社代表取締役会長 柘植康英氏

#### II 職業・学問体験プログラム

「裁判員模擬体験」



岐阜地方裁判所裁判官 小川結加氏・榎本太郎氏

#### III 国際交流体験プログラム

「私の二つのグランドゼロ(爆心地)」



伊東次男氏

#### IV 最先端科学体験プログラム

「分子で世界を変える  
～分子が世界の食糧危機を救う～」



名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所  
伊丹健一郎氏・佐藤健人氏

「固体でも液体でも気体でもない状態  
超臨界流体」



超臨界技術センター株式会社 藤井景子氏

#### V 各種大会体験プログラム

高校模擬国連国際大会参加



海外研究部

## 校訓

# 百折不撓・自強不息

百折不撓(ひやくせつふとう=一度失敗しても志を曲げないこと)  
自強不息(じきょうふそく=自ら努め進んでやまないこと)

## 校風

創立以来140余年の伝統の中で、本校の校風は一貫して自主・自立を旨とし、学問を愛し、学力を培うとともに、たくましい気力・体力を磨かんとするものです。

「文武両道」をモットーに、「百折不撓・自強不息」の校訓のもと、いつの時代にも、英知にあふれ、調和の取れた人間の育成をめざしてこの校風は受け継がれています。

## 教育の特色

### 単位制への改編

「個別のより高度な学習ニーズに対応できる仕組み」として、効果的な単位制教育課程の編成

### 主体的な学習態度の育成

「授業で勝負」という言葉を徹底させる初期指導の充実と、主体的な学習態度を身につけるための学習シラバス(スターチャート)の提示

### 教科学力の充実

学習ニーズに対応した効果的な「岐阜基礎講座」、「課題探究講座」の実施などにより、生徒一人一人の豊かな将来設計の実現を目指し、目標とした大学に合格できる教科学力の育成

### グローバルリーダー養成事業

各分野、多方面におけるトップランナーによる学習会、講演会を企画実施し、グローバルリーダーの素養を養成

## 挑戦し続ける「岐阜高校」

校長 折戸 敏仁

創立147年の歴史と伝統ある本校で、「百折不撓・自強不息」の校訓のもと、自らの夢の実現へ向けて果敢に挑戦し続ける生徒たち、その夢の実現へ向けて支援を惜しまない教職員、そして、素晴らしい学校施設。このような本校において、グローバルリーダーの育成へ向け「個別のより高度な学習ニーズに対応」するため、単位制教育課程のメリットを活かし、教育活動の充実を図っています。

高い志を持ち、特色ある教育活動に主体的、探究的に全力で取り組む生徒一人一人が、将来、国の内外を問わず、様々な分野でリーダーとして活躍してくれることを心から期待しています。

## SI (スクールアイデンティティ) 概念図



岐阜高校では、「百折不撓・自強不息」を校訓として、「トータル・パーソン」を目指す教育諸活動を展開しています。

## グローバルリーダー養成事業に参加した生徒の感想

### I 基調講演会(同窓会主催)

「JR東海の「挑戦」と「人づくり」  
～リニアが拓く日本の未来～」

講演でも自主性が重要と書かれたことが印象的だった。そうした力は今自分がやっている部活動などで身につけていくと思う。大人になってもチームワークや自主性を大切にしていきたい。



### II 職業・学問体験プログラム

「裁判員模擬体験」

裁判はどうしても日常から遠い位置にある印象があります。しかし、今回の例のように様々な事情を汲み必要があることが分かりました。そういった微妙な判断はAIが人間にとって代わって機能するようになってきて、経験を積んだ裁判官・弁護士にしかできないことなのでしょう。



### III 国際交流体験プログラム

「私の二つのグランドゼロ(爆心地)」

これからの世代に同じ苦しみを体験させないよう「戦後」という時代が永久に続くよう平和な世界を築き上げていくことが必要であると思った。



### IV 最先端科学体験プログラム

「分子で世界を変える  
～分子が世界の食糧危機を救う～」

実験室で合成するような化学物質が、遠く離れたアフリカで穀物生産の助けになっていることに驚いた。



「固体でも液体でもない状態  
超臨界流体」

超臨界技術について、二酸化炭素だけでなく、水などの物質でも応用でき、これまでの技術では実現できない現象を実現できると知って、とても興味がわきました。



### V 各種大会体験プログラム

「模擬国連国際大会」

閉会式は国連本部の総会議場で行われました。議場に一歩足を踏み入れた途端、これまで映像を通してしか見たことのない空間に身を置いていることの緊張感から鼻筋が立ちました。





### 宣誓




私たち新入生二百六十名は今日ここに岐阜県立岐阜高等学校への入学を許可されました。今日より三年間、百四十年余りの伝統をもつ岐阜高校の生徒であることを誇り、文武両道のトータルバランスを目指します。また、高い志をもち、校訓である百折不撓、自強不息を心に刻み、心豊かな人格の向上を目指すとともに、伝統に培われた校風を維持発展させるよう心掛けることを誓います。

令和 年 月 日  
令和 年 四月 十日  
令和 年 度 入 学 生 総 代  
栗原 翠

### 学校紹介



### 夢の実現に向けて



#### 1年次 岩下 瑠乃

私は、夢の実現に向かう第一歩として岐阜高校を志望しました。レベルの高い学習と探究心あふれる仲間との交わりは、想像以上に刺激的でした。私たちは、これからの社会を支え、社会に革新を促すような存在とならねばなりません。だからその他の人の立場や考え方を尊重し、謙虚な姿勢で何事も取り組むことが大切です。そして、夢をかなえるために、志を曲げることなく最後まで努力し続けられる人を目指したいと思います。

### 林間学舎の思い出




### 学舎で身についた力

#### 2年次 杉山 綾香

普段とは違った環境で過ごした学舎での時間はとても楽しく、思い出深いものとなりました。3日間の活動のなかで、私たちはたくさん力をつけることができたと思います。

飯盒炊飯やレグでは、いくらか先を見据えた計画をしても実際に行ってみるとうまくいかないこともあり、臨機応変な対応を求められることが多くありました。そんな時、仲間のために積極的に行動する姿がたくさんあって、みんなの絆が深まったと思います。栗原登山の時も、一人にならないよう選んでいる仲間を持ち、置かれている仲間を気遣ったりという温かい姿がたくさん見られました。私たちは最後の団だったので、道具の片づけや掃除などにも真摯に取り組みました。今年もお世話になりましたという気持ちで、きれいに片づけました。

この3日間で、全員が大きな達成感を味わったと思います。短い時間でしたが、いつもは見られない仲間の姿を見たこと、一生懸命活動に取り組んだことはとても有意義で貴重な経験になりました。この学舎で身についた力を、今後の学校生活でも大切にしていきたいです。

### 努力を惜しまない



#### 1年次 松葉 みなみ

私は、文武両道で何事にも努力を惜しまない校風や昨年の夏休みに行われた学校見学会での先輩方のお話に心惹かれ、岐阜高校を目指しました。入学後すぐに休校になってしまいましたが、学校が再開し、充実した環境で学校生活を送っていることはとても幸せだと実感しています。活動が限られている今だからこそ、1分1秒を大切に、夢の実現に向けて前進したいです。日々の授業や勉強に集中して取り組むのはもちろん、岐阜祭や遠足などの行事では友達やクラスの仲間と全力で楽しみたいです。

### 積極的に挑戦



#### 1年次 辻本 航太

私は、将来の選択肢を広げたいと思い、岐阜高校への受験を決めました。今は仲間たちと切磋琢磨できる毎日に大きな刺激と喜びを感じています。高校では、勉強に限らず部活動や課外活動においても、やりたいことを自分で決め、積極的に挑戦していきます。卒業後は留学もしてみたいと考えています。笑顔と向上心、そして周囲への感謝を絶やすことなく、三年後には人として大きく成長し、将来は世界を舞台に活躍できる人になりたいです。

### PSセミナー Parents-to-Students Seminar



PSセミナーも24題目を迎え、令和元年度は9名の講師の方々より、1年次生を対象にお話しいただきました。本講演は生徒の人生観・職業観の育成を図ることを趣旨とし、PTA行事の一環として開催させていただいております。また、当日は岐阜県教育週間でもあり、保護者や地域の皆様方にも受講していただきました。

演題は、「株式市場から見た良い会社とは」「紛争を解決するということ」「起業した人、だけど質問ある?」「面白い事を面白くと思えるようになる事」「医学部・歯学部・耳鼻科のお話」など、どれも生徒たちの興味を引くようなものばかりで、キャリア教育の一環として、本校生徒の人生観・職業観育成や進路選択の一助となったことと思います。

### 学校年間行事

4月	入学式・始業式 対面式・部活動紹介 オリエンテーション(1年次生)	5月	スポーツテスト 遠足 応援練習・歌唱指導(1年次生) 球技大会	6月	前期中間考査 命の尊さ講話
----	---	----	--	----	------------------





修学旅行生としての役目



3年次 中野愛弓

高校2年次生での最大の学校行事とも言える修学旅行において、一番心に残っていることはやはり原爆についてです。

私たちは今までに原爆投下の背景や原因、影響などについて、授業などでたくさん資料を通して学習し知識を持っています。しかし長崎原爆資料館で「原爆についてはよく知っている」とは言えないことに気づかされました。知ったつもりでいただけだったのです。授業や教科書で見聞きしたことがあるものをいざ目の前にしてみると、こんなにも高い言葉では言い表せないような悲しさや冷たさを感じるのだと思い知らされました。

さらに被爆を経験した下平作江さんに当時の状況や心情について講演をして頂き、その悲惨さを知ることができました。また言葉ひとつひとつに何とも比べられないほどの重みを感じました。全ての言葉に被害者の方々の願いが込められているようでとても心に響きました。

今、私たちの生活で、辛いことや苦しいことは誰にだってあり、逃げ出したいくなる毎日だと思います。私もそうです。しかし、足踏いても逃げられようもなく、ただただ原爆の被害をうけ、その後の差別にも苦しめられるような苦痛を味わってきた被害者の方々からしたら、私たちの今の生活は幸せの形そのものでしょう。そのことを心において、下平さんがおっしゃられたように、苦しくても生き強く、そして生きていくうちに、被害者の方々には別荘願いませんが私たちに原爆について語り継いでいくことが日本の未来のためであり、私たちの役目です。

ジョイントセミナー at 東大に参加して



3年次 飯沼誠人

僕はat東大を通して「未来の指針」を学ぶことができたと思います。東大の施設見学に加え、実際に講義を聞くことができ、更に東大生の先輩方のお話を直接聞いたことは僕の中で意味であった指針の指針を明確にしてくれました。また、経産省で日本の最先端の事業を担う方々からも直接講義を聞いたことは、僕の中で貴重な経験になったとともに近道の道を越えた更に先の将来像について考える契機ともなりました。このようにat東大で学ぶことのできた様々な経験や、将来の在り方を糧として日常の高校生活にも活用し、日々邁進していきます。

部活動

【吹奏楽部】



2年次 田中美羽

吹奏楽部は短い練習時間の中でもお互いに協力し合い、演奏技術の向上を目指しています。勉強と部活の両立が大変ではありますが、全員で同じ目標を持ち、仲間と共に一つの音楽を創り上げることで達成感を得ることができる素晴らしい部活です。

主な活動は夏のコンクール、冬のアンサンブルコンテスト、3月に行う定期演奏会です。昨年のアンサンブルコンテストでは木管8重奏と打楽器3重奏が東海大会に出場し、銅賞をいただきました。その他の活動としては、文化祭での演奏、産直農チア部と合同で行う野球応援などがあります。また、日頃私たちの活動に協力してくださる多くの方々への感謝の気持ちを伝える場が定期演奏会です。今年の3月に行う予定だった第15回定期演奏会と夏のコンクールはコロナウィルスの影響で残念ながら中止となりましたが、状況が改善すれば、秋には長良公園で野外コンサートを行う予定です。演奏を聴いてくださる皆さんに楽しんでいただけるよう、これからも練習に励みます。

文化系部活動

- 美術 美術少年美術展優秀賞、ジュニア油絵展入選、われらも展覧プロジェクト出品
- 音楽 青森/フォーモダンス甲子賞出場、全国高校総合文化祭出場、全日本高等学校音楽コンクール準大賞、春の甲子賞(団体の部 東海優秀賞)(個人の部 優秀賞)、全国高校大学生音楽コンクール、東海高校総合文化祭最優秀賞、東海少年美術展最優秀賞
- 美術 地区高校美術大会最優秀賞 創作脚本賞
- 音楽 東海コンクール銅賞、ぎふフォーカルアンサンブルコンテスト全賞
- 文芸 全国高校総合文化祭出場、東文芸コンクール部総部門1位、小説部門1位2位、詩部門3位
- 自然科学 生物部 Intel i5E3(国際学生科学技術フェア アメリカにて開催)に日本代表として出場し、動物部門第2位
- 自然科学 化学部 高校化学グラントコンテスト 読売新聞社賞(全国4位)、SYF 2020 at Singapore 参加
- 自然科学 物理部 自然科学系部活動研究発表交流会最優秀賞
- ES・キャリア 東海高校英語プレゼンテーション大会最優秀賞、ボランティアスピリットアワード、コミュニケーション賞
- 読書 読書 読書もん創作コンクール最優秀賞、読書検定理科コンクール最優秀賞
- 写真 東海少年美術展入選、東海高校写真コンテスト最優秀賞、東海高校総合文化祭写真最優秀賞
- 読書・研究 全国高校総合文化祭、全国高校研究新人大会、全国高校読書選手権全国大会出場
- 吹奏楽 東海アンサンブルコンテスト銅賞
- クイズ 研究 全国高校クイズ選手権全国大会出場、全国高校生金融経済クイズ選手権全国大会優勝

7月 保護者懇談会  
夏季休業  
林間学舎活動(1年次生)  
夏季補習

8月 ジョイントセミナーat東大  
エンバワメントプログラム  
岐阜祭(文化祭・体育大会)  
林間学舎活動

9月 卒業生と語る会  
前期期末考査  
前期終業式





紹介

【サッカー部】



3年次 加藤健丸

僕たちサッカー部は全国大会出場を究極的な目標に掲げ、活動をしています。去年は県二部リーグ優勝、県一部リーグ昇格を果たし、今年からは1つ上のステージで戦える機会を得ました。サッカーのフィールドには、ボールとゴールしかなく、相手よりたくさんのゴールを決めれば勝ちというシンプルなルールですが、それ以上に奥深く、日々の練習や連携が必要不可欠となっています。高校サッカーでは、秋の選手権、冬の新人戦、そしてインターハイと3つの大きな大会があります。岐阜高校サッカー部はそこで他の強豪校と張り合っていくように、今まで以上に一丸となって部活動に打ち込み、朝に自主練習をしたり、部活後に筋トレをしたりするなど、部活に対して意欲的な選手が多いです。高いレベルでの文武両道にこだわり、日常生活や勉強も重視しているため、東大、京大に進学する先輩も少なくありません。これからも岐阜高校の模範となるような姿を目指し、良い結果を報告できるように精進していきます。

運動系部活動

- 硬式野球 全国高校野球選手権岐阜大会ベスト8、秋季県大会ベスト8(21世紀枠岐阜県代表)
- 陸上競技 全国高等学校選手権出場、東海高校総体出場、東海高校新人大会出場、東海高校新人優勝(3000m障害)
- サッカー 高円宮杯U18岐阜県2部リーグ(G2)優勝(県1部リーグ(G1)昇格)、全国高校総体岐阜県予選ベスト8
- バレーボール 東海高校総体ベスト16、東海高校新人大会ベスト16
- バスケットボール 東海高校総体、東海高校選手権大会ベスト8
- ソフトテニス 岐阜県高校室内大会男子団体第4位
- 水泳 東海高校総体出場、福井県体出場、混合リレー最高チーム東海高校記録樹立
- 卓球 中部日本卓球選手権大会、東海卓球選手権大会出場
- バドミントン 東海高校総体、東海高校新人大会ベスト8
- 柔道 東海高校総体、東海高校新人大会出場
- 剣道 東海高校総体出場(女子個人)、東海高校総体、東海高校新人大会出場
- 軟式野球 全国高校軟式野球選手権東海大会出場
- テニス 東海高校総体準優勝、東海総体出場、東海高校新人大会準優勝、県シングルス優勝
- ハンドボール 県選手権出場

局・その他

- 国語 全国高校ピリオドコンクール大会2位
- 放送 東海高校放送コンテスト創設部門出場
- 家庭クラブ 全国高校生ホームプロジェクトコンクール優秀賞

自然科学部生物班



部長 天満 陽奈子

自然科学部生物班では、県の絶滅危惧種であるヤマトサンショウウオの保全活動と生態の研究、アユの魚病の研究など、地元に着目しながら充実した研究活動を行っています。昨年度は全国総文祭や高校生バイオサミットにおいて研究発表も行い、より自分たちの研究を深めることとなりました。それぞれの活動で様々な場所に行き、多くの人と出会えることも活動の醍醐味です。

応援団について



応援団長 沢田 憲信

本校応援団は、大正5年に旧制岐阜中学の野球部が応援団を募ったのが始まりとされる、70年以上の歴史を誇る組織です。現在は、新入生に対する歌唱指導・応援指導や、大会・コンクール出場者への壮行会、バケツの水を被る水垢離が恒例の大学入試壮行など様々な場面で活動しています。中でも、チア部や吹奏楽部、一般生徒などと一体になってつくりあげる野球応援は、キレのある演奏と大きな声援が全力で戦う選手の心に響く夏の風物詩となっています。

10月

後期始業  
修学旅行(2年次生)  
PSセミナー  
芸術鑑賞会

11月

基調講演会(同窓会主催)  
後期中間考査(1・2年次生)  
学年末考査(3年次生)

12月

主催者教育講演会  
保護者懇談会  
冬季休業

岐阜県(体育大会)

修学旅行

芸術鑑賞会

基調講演会



## 令和2年度 大学合格者数

大学名	合格者数
北海道大	9
東北大	1
秋田大	1
筑波大	4
千葉大	1
お茶の水女子大	1
東京大	12
東京医歯大	3
東京外大	2
東京学芸大	1
東京工業大	1
一橋大	3
横浜国立大	7
新潟大	1
富山大	4
金沢大	3
福井大	1
岐阜大	40
静岡大	5
愛知教育大	4
名古屋大	48
名古屋工大	16
三重大	1
京都大	23
京都工芸繊維大	2
大阪大	13
神戸大	8
奈良教育大	1
島根大	1
広島大	5
徳島大	1
愛媛大	2
高知大	1
九州大	4
九州工大	1
長崎大	1
鹿屋体育大	1
福島県立医大	1
東京都立大	1
横浜市立大	2
富山県立大	1
長野県立大	1
岐阜県立看護大	1
岐阜薬大	15
名古屋市立大	18

大学名	合格者数
滋賀県立大	1
京都府立大	2
京都府立医大	2
大阪市立大	2
大阪府立大	6
兵庫県立大	1
神戸市外大	1
九州歯大	1
東北医薬大	1
自治医大	4
神田外語大	2
青山学院大	10
学習院大	2
北里大	3
慶応大	31
駒澤大	3
芝浦工大	2
順天堂大	1
上智大	8
昭和大	2
成蹊大	2
成城大	2
聖路加国際大	1
創価大	2
中央大	17
津田塾大	2
東海大	2
東京慈恵会医大	2
東京女子大	1
東京農大	5
東京理大	53
東邦大	3
法政大	6
明治大	39
明治学院大	1
明治薬大	2
立教大	3
早稲田大	23
関東学院大	1
フェリス女大	1
朝日大	1
岐阜聖徳学園大	7
東海学院大	1
岐阜医療科学大	2
愛知大	12

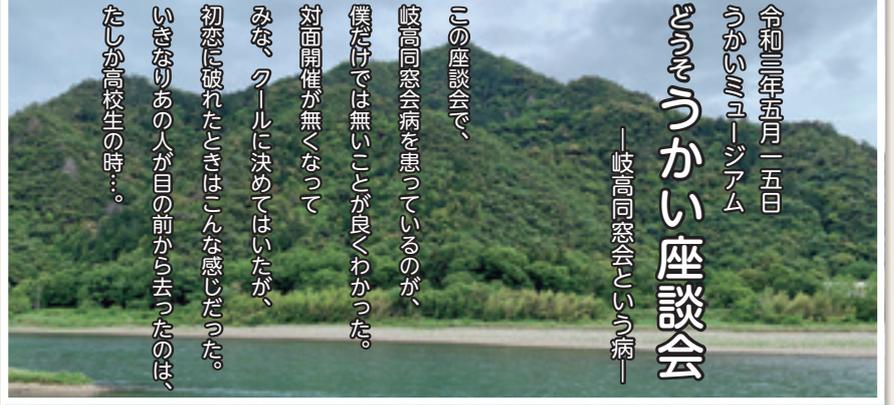
大学名	合格者数
愛知医大	3
愛知学院大	3
愛知工業大	3
愛知淑徳大	5
金城学院大	11
椋山女学園大	3
中京大	24
中部大	3
豊田工大	6
名古屋外大	1
名古屋学院大	1
名古屋商大	1
名古屋女子大	2
南山大	98
藤田医大	6
名城大	59
人間環境大	1
名古屋学芸大	1
日赤豊田看護大	1
一宮研伸大	1
京都産業大	2
京都薬大	3
同志社大	90
同志社女子大	4
佛教大	1
立命館大	112
龍谷大	3
大阪医薬大	2
関西大	5
関西医大	1
関西外大	3
近畿大	14
関西学院大	12
甲南大	1
神戸薬大	1
防衛医科大学校	1
防衛大学校	1

過年度卒業生を含む

令和三年五月一日  
うかいミュージアム

# どうぶつうかい座談会

— 岐高同窓会という病 —



この座談会で、  
岐高同窓会病を患っているのが、  
僕だけではないことが良くわかった。  
対面開催が無くなって  
みな、クールに決めてはいたが、  
初窓に破れたときはこんな感じだった。  
いきなりあの人が目の前から去ったのは、  
たしか高校生の時…。



中風 明世  
昭和53年卒 広告会報

中風 どのよう  
に我々がコ  
ロナ禍で、同  
窓会開催に向  
けて準備を進  
めてきたか、  
という思いを語り合い、会報誌に記  
録として残すことで気持ちの一区切  
りにしたいと、運営委員会のメン  
バーによる座談会を開催しました。

江良 同窓会  
はオンライン  
になりました  
が、禍根を残  
さないように  
最後の整理ま  
でしっかりとや  
っていきたい、  
そんな気持ち  
です。

河嶋廣 最後  
の最後に腰が  
砕けてしまっ  
たのではない  
かという恨み  
はありますが、  
母校にこれだけ  
関わられたのは  
幸せ。運営委員  
会に誘ってくれ  
た中風くん

東明 今でも  
対面開催でき  
ると信じてま  
すが、決断は  
決断で従わざ  
るを得ないの  
で、全力で動い  
て最後を締め  
たいです。

田中 結果は  
残念で、同窓  
会ロスになら  
なければいい  
なと思ってい  
ますが、目標  
を持って互いに  
元気に生きてい  
く、

田中真理子  
昭和53年卒 広告会報

東明 裕  
昭和63年卒 広告会報

河嶋 廣  
昭和53年卒 名簿広報

江良 寿泰  
昭和53年卒 財務



田中真理子  
昭和53年卒 広告会報



東明 裕  
昭和63年卒 広告会報



河嶋 廣  
昭和53年卒 名簿広報



江良 寿泰  
昭和53年卒 財務

そんな風に思えるきっかけを同窓会  
がつくってくれました。

竹中 岐阜高  
校に縁があつ  
て入学し、六二  
歳になった今  
も、つながれ  
ていて嬉しい。  
コロナで対面での同窓会が開けない  
のは運が悪いというか、僕も残念に  
思っています。

高橋 会報誌  
の広告協賛の  
お願いの電話  
をしている時  
に、依頼先の  
方々から掛け  
てもらった、「頑  
張ってください  
」という言葉  
がありがたか  
ったです。大  
きな協力で感  
謝し、岐阜高  
校の卒業生で  
よかったと改  
めて思いまし  
た。オンライン  
での同窓会を  
やり遂げたい  
、今はそんな  
気持ちです。

松山 前年度  
の運営委員  
会の違いは、  
順調に進む準  
備の途中で、  
突然、前代未  
聞のコロナ禍  
が起き、どん  
どん状況が  
厳しくなっ  
て中止を余儀  
なくされ

高橋 研二  
昭和53年卒 会場

竹中 浩一  
昭和53年卒 広告会報

松山 高広  
昭和53年卒 イベント

高橋 研二  
昭和53年卒 会場

ましたが、我々はコロナ禍の真つ最  
中で始めたにも拘らず、どうにかし  
ても開催できる方法を模索してき  
た違い。方向性を一生懸命にみな  
で探してやってきました。感染防止  
対策も、専門家にメディカルアドバ  
イザーになっていただいて、万全を  
期しました。しかし、対面開催は中  
止になります、我々の成果として、  
オンラインの新しいカタチで同窓会  
を開催することになったと前向きに  
捉えています。ブログや動画配信の  
できる新しく美しいホームページも  
作りました。新しいことをやったの  
だと、それが一〇年、二〇年下の学  
年の運営委員につながり、ますます  
盛り上げていってほしいです。オン  
ライン同窓会に参加した人が楽しん  
で終われることを目指し、あと少し  
頑張っていきたいです。



コロナで舟も一休み

**中風** 昨年度の同窓会から我々の運営委員会に引き継ぐのが難産で、例年ならば六月には組織はできあがっていないといけないのが、八月になって篠田くんが運営委員長を引き受けてくれたからのスタートに。スリリングな中で進んでいきました。例年はまず最初に、巨大同窓会動員に向けて大勢の運営委員会を組織します。我々はその数分の一の人数で。しかし、やり遂げるといふ思いの同窓生が運営委員に集まったので、少数でもここまで来られたことがすごいなと。みんなのモチベーションが素晴らしくていい戦い方ができた。今年のような状況で、運営委員を引き受けること自体が鬼つ子の押し付け合いみたいになってしまつて、第三者からしたらコロナ禍で何やって



堤防道路階段

いるんだ、という視線もあったかもしれないけれど、本当によかった。**篠田** そうですね。しかし、引き受けた時、すでにぼくは、同窓会はできる！という確信がありました。一同 おー。**篠田** そうして準備をしましたが、状況がこうなったからには何ともならない。今日（五月一五日）の新聞でも、古田警知事が国に緊急事態宣言への追加を求めると報道されました。我々の対面中止の判断はそれよりも早くつて（五月一三日）、「どんなもんだい」という思いはあります。ただ、明日（座談会の翌日）、岐阜工業高校が同窓会を開くと、みんなで集合写真を撮った堤防道路で取材をしていただいている岐阜新聞記者の方から聞いて悔しくて、やられたと思えました。**中風** なかなか堤防道路から会場に向かわれないのでどうしたのかなと。**篠田** 堤防道路：悔しくて、情けなくて、みんなに申し訳なくて、気持ちの整理をつけられませんでした。やっぱり一番になりたかった。でも



篠田 成郎  
昭和53年卒 運営委員長

参加希望者が五〇人と聞いて、うちは一二〇人だよと。最初は五〇〜六〇人も集まれば十分と思っていたので嬉しかったです。頑張った甲斐がありました。参加してくれる人たちはオンラインでも盛り上げてくれると期待しています。温かい雰囲気です。楽しんでもらい、よかつたねと言ってもらえたら大成功です。



木村 裕子  
平成10年卒 イベント司会

大きな仕事があるので、どうぞよろしくお願いします。**白木**（ズーム）同窓生全員と仲良くあいさつをしてすぐに退室。**佐久間**（ズーム）何とかこれから先に、私たちの意思を伝えることができればいいと思っています。これまで



白木 淳子  
昭和53年卒



佐久間直子  
昭和53年卒 広告会報

での姿を思う存分、会報に反映することで、これからの岐阜高校同窓会の新たな姿に貢献できるのでは。みんな、すごかつたよかつた。**男性一同** ほんと？（照れながら）**中風** 一番スタイリッシュだったのが河嶋廣くん。この同窓会の活動中にBMWのカブリオレを買っちゃつて。同窓会に颯爽と乗って駆けつけるつもりでいたのが無駄になってしまつて、こんな可哀想なことはないよね。林誠くんがこの前の川原町の座談会にポルシェのパナメーラに乗ってきたので、林がポルシェなら俺はBMWだつてね。**松野**（ズーム）岐阜を離れて四〇年で同窓会に参加するのを本当に楽しみにしていたので残念です。皆さんが頑張っている姿を見せてもらつて力になりました。岐阜高校の皆さんはやはり優秀です。**川島潤**（ズーム）すごい仲間が集まっています。対面で開催した時に



松野 太郎  
昭和53年卒



川島 潤  
昭和53年卒

は同窓会のいいモデルケースになる  
 と思っていました。「いつか」み  
 なで集まって、あの時にはこんな  
 とがあったねと話せる時が来るのを  
 待っています。

**中風** 「いつか」という川島潤く  
 んの話を聞いて、一番遠くても東明  
 くんが運営委員長の一〇年後。その前  
 に何かできるといいけれど、何とか  
 長生きをして同窓会に乗り込んで、  
 後輩たちを困らせちゃいましょう。

**東明** ただでさえ、色の濃い先輩  
 たちで。それはどうかと…。(一  
 同笑)でも、飢饉の中のリーダーシ  
 ップを見たように思っています。難しい  
 状況の中で、諦めずに突き進んだ。  
 最後の最後まで粘って戦ってできな  
 かった。途中で諦めてできなかった  
 のとは全然違いますから。

**篠田** そうですね。また、前例がな  
 いうてことは好き放題にやらせても  
 らえる。だから楽しかった。確かに  
 考えなければいけないことは多かつ  
 たですが、レールに敷かれたものを  
 踏襲するだけならば何も面白くな  
 かった。

**中風** 篠田運営委員長はいつ書類を  
 制作しているのかといつも不思議で  
 したが膨大な量と重いですよね。

**松山** 土日はたいがい徹夜でしょ？

**篠田** そうでした。(一同感嘆)

**松山** 河嶋廣くんは、所在の分から  
 ない同窓生や恩師は古い卒業名簿を  
 見て直接会いに行ったでしょ。あれ  
 はできないよ。

**河嶋廣** 座談会だからタネを明かす  
 けれど、あらゆる方法を駆使しまし  
 た。卒業名簿で住所を調べたら結構  
 町名変更があつて。岐阜市に聞いた  
 ら法務局に聞いてくれとなつて。法  
 務局に何度も電話するから、すぐに  
 教えてくれるようになって。奈良か  
 ら岐阜に帰ってくる度に車(BMW)  
 で走りました。一軒一軒電話しまし  
 た。渡邊博くんはインターネットに  
 「外交官 渡邊博」と打ち込んだら  
 出てきた。写真もあつたので、昭和  
 五三年卒のラインで訪ねたら本人だ  
 と確認が持てたので、フィリピンの  
 セブ島総領事室に電話しました。渡  
 邊くんが出てきたときはもう感動！  
 五組の中川英彦くんは、インター  
 ネットの電話帳に同姓同名が五人出  
 てきた。自分の感で岐阜と東京が  
 づサイと。

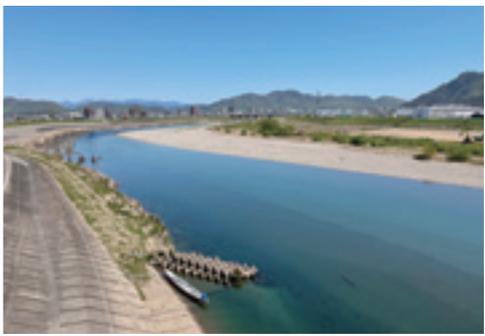
—まるで岡つ引きだ、(一同笑)

**河嶋廣** 意を決して東京の方に電話  
 したら本人で、当たった！と思いま  
 した。その後メールを送ったら「懐  
 かしかった」と言ってくれて。そう  
 いうのが原動力になりました。二〇  
 人が分からないままタイムリミット

になって残念。

**中風** 広告は正月明け一番のロケッ  
 トスタート、東明くんと高橋くん、  
 江良くんがたくさんの依頼先へ電話  
 をし、勢いづけた。続いて永田くん、  
 河嶋廣くん、田中くん、佐久間くん、  
 竹中くんがコロナ禍で大変難しい医  
 療関係に電話してもらい、五〇〇万  
 円超えというミラクルが起きまし  
 た。

**高橋** 広告活動は依頼先に足を運ば  
 なければいけないところ、コロナ禍  
 で電話になって。でも皆さんから温  
 かい気持ちをもらいました。毎年、  
 高額の寄付をしてくださっている  
 方々に深く感謝します。



長良川右岸からみる岐高と金華山

**中風** 広告のあり様は、我々だけの  
 同窓会ではないということを知らし  
 めてくれました。もう一つ素晴らし

いのが東京から岐阜に帰ってくる度  
 に、ハードスケジュールをこなした  
 松山くん。

**松山** 逆にコロナだったから在宅  
 ワークで動きやすかったところもあ  
 りました。うちの会社の前会長が岐  
 阜高校の卒業生で理解をいただきま  
 した。社長が岐阜商工会議所のこと  
 もしていて、岐阜大教授の篠田くん  
 と一緒に仕事をすることもありまし  
 た。篠田くんが運営委員長になるな  
 らばと、仕事がらみで手を挙げさせ  
 てもらいました。

—ビジネスだったの？(一同笑)

**松山** 僕も土木系で委員長と二人で  
 当日イベントを5GやSDGsとか  
 の堅いプログラムばかり考えていた  
 ら、中風くんや東明くんから、楽し  
 いのが同窓会と言われまして。私も  
 身を持ってそう感じていきます。

**早川** (ズーム  
 に遅れて参加)  
 広告部の皆さ  
 んの頑張り  
 に昭和五三年卒  
 の運営委員の  
 端くれとして誇らしく思っていま  
 す。



早川 博一  
 昭和53年卒

**中風** さて、この人がいなかったら  
 回らなかったという知恵袋の江良く  
 んから一言。



うかいミュージアム会議室

**江良** 篠田くんが組織表のいろんなところに僕の名前を入れるんで、行かなければいけないなって。

**篠田** ばれていましたか(笑)。頼りにしていました。

**江良** 一生懸命なみんなに付いていくのに精一杯なだけでした。来年の幹事から運営の仕方について照会があったらいつでも応えようと思っています。

**田中** 同窓会でこんな年齢まで、会議の度に盛り上がるのはなかなかないことで、若返った気持ちになって楽しかったです。

**篠田** 今日は、楽しく笑い飛ばしながら苦勞を語り合えました。愚痴に

ならなかったからすごく嬉しかった。やっぱりすごいメンバーです。オンライン同窓会に参加した皆さんに温かい気持ちで楽しんでもらう、それを最終目標にあと少し頑張りたい。ありがとうございます。

**一同** ありがとうございます！

座談会に来られなかった仲間の声

**香田** 昨年九月に運営委員会の各担当が決まり、ようやくZoomでの打合せ



香田 和宏  
昭和53年卒 会場

が始まったわけですが、日曜の夜開催なのでアルコール片手の参加者が多数を占める中での大激論となり、時間がないのに議論が迷走し、年末時点で合意できたのはテーマの文言のみ。目玉となるイベント内容については「ドクターXの林誠人くんを呼ぶのなら、主演の米倉涼子も呼んだらどうか。ギャラが足りないのなら広告部が頑張つて稼ぎ出してやる!!」と叫ぶ者が出る始末。三月予定の案内状発送が迫る中でも、会場対面開催の可否を決断できない状況でした。そんな中で「広告収入が目標大幅過達」という知らせが入り、

「やればできる」「対面開催も諦めるな」と一気にベクトルが一本になった気がします。

**加藤** 五月九日に開催の方針が決まり、翌日深夜に恩師への総会・懇親会の招待状を用意。印刷して折り畳み、恩師のあて先を添えて母校の校章をプリントしたピンク色の所定封筒に封入する時、四〇数年前の思い出が去来して目頭が熱くなりました。下働きしかできず申し訳ないと思いつつ、仲間と一緒に令和三年度の運営委員会に携われて本当によかったです。



加藤 仁  
昭和53年卒 事務局長

**山賀** 同窓会の運営委員に加えていただき半年程度活動しました。現時点での活動としてはWeb会議の参加や東明くん、近藤くんとの座談会に参加した程度でありお役には立てていませんが、岐阜高校同窓生の方々が様々な分野で精力的に活動されていることを実感し、岐阜高校のポテンシャルの高さを改めて感じました。



山賀 篤  
平成10年卒 イベント司会



みんな笑顔で。

今回の同窓会開催までの苦勞が、こんなこともあったなと笑って語り合えるような平穏な日常が一刻も早く取り戻せることを願っています。



永田 知里  
昭和53年卒 広告会報

## 特設ホームページの開設について

令和3年度同窓会は対面開催を中止します。しかし、同窓会総会とその後続く懇親会で行われるイベントをオンライン配信します。多くの方々に同窓会会報の内容をご覧いただくために、令和3年度同窓会総会・懇親会運営委員会では、独自の特設ホームページを開設いたしました。このホームページでは、会報掲載内容だけでなく、記事に関連する写真や動画などの詳細情報も掲載いたします。また、めまぐるしく変化する社会の状況に対応して、同窓会総会・懇親会の開催情報を逐次発信することも目的としています。

2023年5月までは本ホームページを維持していく予定としておりますので、皆さまのご閲覧をお待ちしております。



2021.05.26  
「同窓会総会」をお祝い  
して  
岐阜県立岐阜高等学校  
員 石田達也 令和3年度  
の岐阜高校同（一）紙を  
読む）



2021.05.26  
さくら百折平橋  
岐阜県立岐阜高等学校同  
窓会 会長木方 伸一郎 昨  
年に引き（一）紙を  
読む）



2021.05.26  
変わりゆく測れない気持ち  
も7折九な歩みへ〜我々の  
奮闘で未来図を輝こう〜  
令和3年度岐阜県立岐阜高  
等学校同窓会総会・懇親  
会運営委員（一）紙を  
読む）



2021.05.26  
オンライン開催の基本情  
報  
Zoomにて総会・懇親会  
に参加いただけるように  
いたします（一）紙を  
読む）



2021.05.16  
納入会費の返金について  
令和3年度岐阜高校同窓会  
総会・懇親会運営委員会  
令和3年（一）紙を  
読む）



2021.05.16  
対面開催中止と全面オン  
ライン開催のお知らせ  
令和3年度岐阜高校同窓会  
総会・懇親会運営委員会  
／委員長（一）紙を  
読む）



2021.04.21  
同窓会総会議事  
録 総会・懇親会運営委員  
会



2021.04.20  
百折平橋  
岐阜県立岐阜高等学校同  
窓会



スマートフォン対応

## ▽広告ご協賛の

### 御礼

令和三年度岐阜高等学校同窓会の総会・懇親会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大がとどまることなく、対面での開催を中止いたしました。未来への形としてオンライン開催をします。広告ご協賛を賜りました皆様のご厚情を掲載させていただきました。会報・特設ホームページを無事、完成させることができました。厚く御礼申し上げます。

なお、ご紹介順序は会報の構成上、原則的に順不同となっております。何卒ご了解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和三年六月吉日

岐阜県立岐阜高等学校同窓会  
令和三年度総会運営委員会

## 編集後記

地平線上に、ぷかぷかと積乱雲をいくつか浮かべた真つ青な空に、ぼくの心は吸い込まれた。

前日の五月二三日、対面同窓会は中止になった。優れた仲間たちが集まって、可能な限り緻密を極め、COVID-19感染予防対策に知恵を絞りきった。皆がまるで我が子のように愛着を持った対面同窓会であった。

人生もある時期を境に、出会いより消失が多くなる。そうした悲しみをそっと抱いて生きた証とする知恵はある。あの積乱雲たちは、若き日の僕たちであり、いずれ役目を終えて雨や蒸気となり消える。

僕たち運営委員会とCOVID-19の変異との戦いはまさしくチキンレースだった。日々、感染状況を表す棒グラフを見た。甘い予測は次々と覆され、しごとく生き残りをかけて感染力と毒性を強めるCOVID-19。

しかし、やがて雨や蒸気は小さな流れとなり、いつか大河や海となって、多くの自然や生命を育んでいくだろう。対面同窓会は無くなったが、リモート同窓会は、大きな結実の一つであり、未来への橋渡しとなる。

こうした流れの途中に我らの岐阜高校は「ある」。

令和三年、そうした時の記録をとどめるために手を貸していただきました全ての皆様に謝辞を述べます。

会報 昭和五三年卒 中風明世

令和三年度  
岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会

# 会報

■発行

令和三年六月十四日

■編集

岐阜県立岐阜高等学校同窓会

令和三年度総会運営委員会

■印刷

サンメッセ株式会社